

40202バス業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	17 ～ 18	交差点手前で接触事故が発生したが、先方車両が気付かず進行したので、赤信号で停車した先方車両の運転手に話をしようとバスから降りた際、凍結した路面で転倒し、肋骨を折り、腰椎を捻挫した。	47	2	719	100 ～ 299
2	2020	1	19 ～ 20	バスの運行を終え、駐車場から事務所へ向かう途中、足下がブラックアイスバーンになっており、滑って仰向けで転倒し、臀部を強打した。	58	2	719	100 ～ 299
3	2020	1	7 ～ 8	ホテル駐車場で観光バスの日常点検中に、路面が凍結していたため、足を滑らせて転倒し、右足を骨折した。	56	2	417	30 ～ 49
4	2020	1	6 ～ 7	目的地へバス運行中、交差点にて停止信号に従い停車した。その後、青信号に変わったため発進し、約10m進行して、対向車の安全確認のため、一旦停止したところ、乗用車に追突され、頸椎を捻挫した。	54	17	231	100 ～ 299
5	2020	1	23 ～ 24	団地から駅へ回送時、駅入口の交差点で赤信号のため停車中に乗用車に衝突された。その際、強い衝撃を受け、頸部および腰部を捻挫した。	52	17	231	100 ～ 299
6	2020	1	23 ～ 24	駅到着後、車内点検のため車両後方部に移動するとき、車両中央部のステップで右足を踏み外し、前のめりに転倒し、腰椎捻挫および左手、左肘、左肩を打撲した。	51	2	231	100 ～ 299
			21	大型バスを運転中、運転席横の窓を閉める際、右手薬指を挟んで骨				50

7	2020	1	21 22	折した。	28	7	231	99
8	2020	2	5 6	車両点検しようとしてエンジンフードを上げ、内部に頭を入れようとした際、上げたはずのエンジンフードが下がってきて、顔面を強打して挫傷を負った。	64	6	231	100 299
9	2020	2	11 12	団地で、車椅子を利用のお客様を、スロープ板を設置後、スロープの勾配を利用し、背後から車椅子を押した際に、腰椎捻挫を発症した。	58	19	921	100 299
10	2020	2	18 19	バスターミナル入口の階段を上って少し進んだ辺りで足を踏み外し、歩道から車道に膝から落ちた。その際、左右の膝、右手を打撲し、首、肩、腰に痛みが出た。	49	2	417	50 99
11	2020	3	13 14	信号待ちのため停車中、タクシーに追突された際、頸椎捻挫、腰椎捻挫、背部挫傷を負った。	50	17	231	100 299
12	2020	3	16 17	路線バスを運行し、終点で降車客扱い終了後、車内点検をするため、運転席から出ようとして、仕切り扉のロックを解除操作した際、ロックレバー収納部に左手薬指を挟み、左第4指挫創を負った。	49	7	231	100 299
13	2020	3	15 16	ホテル構内で、お客様の荷物を積むためバスから地面に降りたときに、地面が凍結し、アイスバーンになっていたため、滑って転倒し、手をついて左手の薬指を骨折した。	52	2	416	30 49
14	2020	3	13 14	バスより下車して休憩所に向かう際、雪が積もったスノコに気が付かず、足を滑らせて転倒し、右肩関節捻挫および左下腿打撲を負った。	62	2	379	300 499
15	2020	3	8 9	駆け足でトイレに駆け込む際、右足首から痛みが出て、右足関節捻挫を負った。	47	19	419	100 299

16	2020	3	19 ～ 20	行き先地である支店の仮眠室に休憩のため入ろうとした際、入口側のベッドの角に左足をぶつけ、左足薬指を骨折した。	47	3	911	～ 299	100
17	2020	3	10 ～ 11	路線バスに乗務し駅に向かう途中、バス停付近で渋滞のため停車したところ、居眠り運転の相手方トラックに追突され、頸椎および腰椎を捻挫した。	36	17	231	～ 299	100
18	2020	3	5 ～ 6	入社後、乗務する車の日常点検を行い、燃料を入れた後、バスに戻り前扉から乗車するとき、左足がステップに引っ掛かり転倒した。その際、左足脛部分を強打し、左下腿に挫滅創および左足関節捻挫を負った。	57	19	231	～ 299	100
19	2020	3	12 ～ 13	駅内で、お客様対応のため、運転席のステップを降りた際、路面で右足をひねり、右足距骨を折った。	48	3	417	～ 299	100
20	2020	3	9 ～ 10	バス運行中、他の車両が当車リアバンパーに激突し、その衝撃で胸、首、腰を負傷した。	39	17	231	～ 99	50
21	2020	3	9 ～ 10	車椅子のお客さまの乗車時に、車椅子で足を踏まれ左母趾打撲傷を負った。	61	7	362	～ 299	100
22	2020	3	14 ～ 15	業務中、営業所内へ戻ろうとした際、入口のマットで足を滑らせて転倒し、右足関節を骨折した。	43	2	417	～ 99	50
23	2020	3	19 ～ 20	バス停内部の蛍光灯の点灯状況確認時、バス停下部の金具を上下させていたところ、右手人差し指を挟み腱性マレット指を負った。	59	7	391	～ 49	30
24	2020	4	12 ～	乗務終了後、車庫内で、自宅に帰ろうと乗用車へ乗車しようとした際、つまずいて転倒し、右第5、6、7肋骨を折った。	56	2	231	～	50

			13						99
25	2020	4	19 ～ 20	バス停留所で車椅子のお客様を、歩道からスロープ板を使用してバスに乗車するために車椅子を押し上げたとき、腰に無理な力が加わって、急性腰痛症および背部筋筋膜症を発症した。	44	19	362	～ 99	
26	2020	4	11 ～ 12	営業所にある風呂場を清掃しようとして石段に足を掛けたところ転倒し、脳梗塞を発症した。	71	90	921	100 ～ 299	
27	2020	4	22 ～ 23	業務を終えバス車内の点検をするために車内後方に歩いていったとき、一番後ろまで点検が終わり、折り返して運転席に戻ろうとした際、車内中央部辺りの段差に気付かずに足を踏み外して転倒し、床に強打した顔面を打撲した。	43	2	417	100 ～ 299	
28	2020	4	15 ～ 16	バス駐車場で車両の洗浄中に、脚立から下りようとしてバランスを崩し、脚立とともに倒れた。その際、顔面と右手を地面に打ち、打撲傷を負った。	62	1	371	10 ～ 29	
29	2020	4	7 ～ 8	国道を走行中、交差点にて赤信号で停車しようとしたところ、交差点付近でトラックと乗用車が接触し、その弾みで当車両前方に衝突した。その衝撃で、当車両前部が大破し、ハンドルと運転席に挟まれ、外傷性頸部症候群、頸椎捻挫を負った。	55	17	221	100 ～ 299	
30	2020	4	16 ～ 17	バス停留所で車椅子の乗客をバスに乗せようと車椅子を押し出した際、思ったよりも乗客が重く、力を入れたときに腰を痛め、腰椎椎間板ヘルニア、神経障害性疼痛を負った。	51	19	362	100 ～ 299	
31	2020	4	9 ～ 10	赤信号で停車中、追突され、頸椎・腰椎・両肩関節を捻挫した。	43	17	231	100 ～ 299	
32	2020	5	14 ～ 15	終点駅に到着後、一度車外に出るとき、傘の水を払うため、前扉から降車するタイミングでバランスを崩し、外のガードレール支柱に脇腹をぶつけ、左脇腹を骨折した。	44	1	231	100 ～ 299	

33	2020	5	21 ～ 22	運行ダイヤを終え入庫し、売上金を入金するため金庫を脱着し、右足からバスを降りた際、右足に痛みを覚え、右下肢腓腹筋不全断裂を負った。	48	19	921	～ 299	100
34	2020	5	21 ～ 22	本社で教育を受けるため営業所から本社へ自家用車で移動中、渋滞のため停車していた。そのとき、前車が動き始めたので追従して走行し始めたところ、追突され、背筋損傷および腰椎捻挫を負った。	39	17	231	～ 299	100
35	2020	5	13 ～ 14	事務所内を移動するとき、椅子に足が引っ掛かり、椅子ごと転倒し、右足小指を骨折した。	52	2	379	～ 299	100
36	2020	5	5 ～ 6	バス運転士として乗務し、車庫にて仕業点検を行うため、バス車内へ入ろうとしたとき、前扉ステップに右脛を強打し、右下腿に挫創を負った。	64	3	231	～ 299	100
37	2020	5	9 ～ 10	運転士は、所定のバスに乗務し、運行途中、バス停にて降車扱い中、降車するお客様の定期券が期限切れだったことから呼び止めて連絡先等を聴取していた。そのとき、突然相手方に殴られ、頸椎捻挫を負った。	46	6	911	～ 299	100
38	2020	5	19 ～ 20	車庫内で、バス車両留置業務中、車を移動した際、アクセルとブレーキを踏み間違え、車庫内の支柱と壁に車の前部が衝突し、左肘・右膝に打撲傷を負った。	54	3	231	～ 99	50
39	2020	5	20 ～ 21	工場内のトイレによるため、照明が消えた堀ピットに足から落下し、右脇腹、右肘を堀ピットの溝に打ち付け、右肋軟骨損傷、右拇趾IP関節脱臼骨折、右前腕挫創を負った。	51	1	417	～ 299	100
40	2020	5	15 ～ 16	教習車両に乗車中、教習生の運転操作ミスによって車両がガードレールに接触し、腰部を強打して圧迫骨折した。	66	17	231	～ 49	30
41	2020	6	10 ～	車庫内に留置していた鉄道車両の清掃作業中、一番線に留置していた車両の作業が終了し、隣の3番線の足場へ乗り移ろうとした際、	65	1	416	～	500

			11	雨天で足場が濡れていたため、足を滑らせて地面に落下し、背中および臀部を骨折した。				999
42	2020	6	22 ～ 23	営業後、脚立に乗り高速バスの清掃を行っていたところ、バランスを崩して転倒し、左橈骨を骨折した。	49	1	371	100 ～ 299
43	2020	6	19 ～ 20	バス運行中、バス停留所にて、お客様の乗降扱い停車時に、軽自動車バス後部に追突し、頸椎および両肩関節を捻挫した。	48	17	231	100 ～ 299
44	2020	6	11 ～ 12	運行中、途中のバス停にて、2人乗りベビーカーの乗車を介助しようとしたとき、腰を痛め、急性腰痛症を発症した。	58	19	362	100 ～ 299
45	2020	6	8 ～ 9	営業所3階から1階に通じる階段で、足を踏み外して2階より転落し、後頭部を強打して、一過性脳虚血発作を発症した。	58	1	413	30 ～ 49
46	2020	6	15 ～ 16	キャリアサービス車両を駐車場に格納した後、徒歩で事務所に移動中、滑りやすいグレーチング上を避けたところ、崖上から流れ出る湧き水で濡れていたアスファルトに右足を取られて転倒（下り坂）し、右大腿四頭筋の腱断裂を負った。	62	2	419	100 ～ 299
47	2020	6	9 ～ 10	ピットに入っていた点検車両のエンジンフードを開けようと引き上げた際、右足が滑ってピットに転落し、右肩甲骨を折った。	54	1	418	100 ～ 299
48	2020	6	15 ～ 16	バスを運行中、右側から軽自動車が割り込んできたため、慌ててブレーキを踏んだところ、右足の側面で踏み込み、足関節の靭帯損傷を負った。	36	19	231	50 ～ 99
49	2020	6	15 ～ 16	乗務中、交差点左折のため、横断歩道手前で一旦停車したところ、追突され、頸椎捻挫を負った。	46	17	231	50 ～ 99

50	2020	7	11 ～ 12	出勤中、自転車を営業所敷地内の駐輪場に止め、スタンドを立てた状態で動かそうと持ち上げた際、バランスを崩し、左足の甲の上に自転車を落とし、左母趾に挫傷を負った。	56	7	362	～ 299	100
51	2020	7	7 ～ 8	バス運転士として停留所に到着し、車椅子のお客様の降車対応をした。そのとき、バス出入口のスロープを格納時、スムーズにしまうことができず、少し時間を要した。その際、腰に痛みを感じ、多少の違和感があり、第12胸椎を圧迫骨折した。	70	19	231	～ 299	100
52	2020	7	11 ～ 12	車庫で、バスのクーラーベルトを交換中、工具を持っていた手が滑り、鉄板の角で人差し指に裂傷を負った。	65	3	364	～ 49	30
53	2020	7	16 ～ 17	バス内で、捨て置かれたペットボトルを拾う作業中、前屈みになり立ち上がる際、頭部を発券機に強打し、外傷を負った。	42	3	391	～ 299	100
54	2020	7	6 ～ 7	バスの回送中、信号待ちで、軽四輪車がバスの左後部に勢いよく追突してきたため、頭部打撲、頸椎捻挫を負った。	31	17	231	～ 499	300
55	2020	8	19 ～ 20	営業所のバス洗車場で、モップでバスの外側を洗車後、使用していたモップを壁に立て掛けてバスに戻ろうとした際、水道の蛇口と繋がっている、洗車機のホースの根元部分が地面から浮いていたため、そこで右足を引っ掛けて前のめりに転倒し、後頭部外傷、頸椎捻挫を負った。	59	2	417	～ 29	10
56	2020	8	13 ～ 14	当事業所敷地と道路を隔てるために設けられた石垣に生えている雑草を刈り取る作業のため、石垣の手前にある段差に乗って横に移動しながら、雑草の茂り具合を確認していた。その際、段差の凹みに足を取られてバランスを崩し、段差の下に着地したときに左足をひねり、左足立方骨剥離骨折、左足関節外側靭帯損傷を負った。	36	3	417	～ 299	100
			7	営業所2階のトイレから1階に戻る際、和式トイレで長時間しゃがんでいたため、右足が痺れた状態で階段を下りたため、途中で階段を					100

57	2020	8	8	踏み外して腰と背中を打ち付け、腰部、頸部、胸部、骨盤、右足部に挫傷を負った。	59	2	413	299
58	2020	8	22 23	路線バスを運行中、左カーブ進入時にバランスを崩し、道路左縁石に乗り上げた。その弾みで右対向車線にはみ出し、そのまま進路右側の柵を突き破り、その先にある民家の植垣側壁に正面衝突して停止し、腰椎破裂骨折を負った。	40	17	231	299
59	2020	8	17 18	営業所車庫内で、乗務員交代に向かうため一度社用車に乗り込んだが、忘れ物を取りに車両から降りたところ、車輪止めにつまずき転倒し、右橈骨頭を骨折した。	47	2	419	299
60	2020	8	8 9	バス車両清掃をするため洗車機に格納し、後方の座席窓を閉めようとしたところ、座席下にある段差を踏み外し、バランスを崩した。その際、左手を窓について、左手薬指を骨折した。	49	3	231	299
61	2020	8	7 8	早出予備勤務にて、遅延対応で運行するため車庫内をバスへ向かうとき、通路を小走りで移動してたところ、左足で敷石を踏み外し、左足関節捻挫および左足前距腓靭帯損傷を負った。	56	19	417	299
62	2020	8	11 12	バスを運行中、途中のバス停で車椅子のお客様を、スロープを用いて降ろした。その後、スロープを収納しようとしたとき、上手く動かないため、力任せに行った結果、右手が滑りスロープの端に強打して、右手を打撲した。	62	19	231	499
63	2020	8	6 7	バス業務のため、運行前の車両点検中、隣のレーンの車両止め（枕木）につまずいて転倒し、咄嗟に左手をついたところ、小指中手骨を折った。	64	2	379	49
64	2020	8	14 15	車庫で、バス車両の運転席を取り替えた後に片付けをしていたとき、汗で濡れたつなぎが足に張り付き、足を大きく開くことができず、高さ約1mの作業台から落下した。その際、左足中指・薬指・小指を骨折し、腰を強打した。	45	1	419	49
			18					100

65	2020	8	～ 19	バス運行中、休憩のためバスを下車する際、ステップを踏み外し、右足首をひねり、右足腓骨を折った。	39	3	231	～ 299
66	2020	8	～ 7	営業所の車庫内で、前ドアからバスに乗車する際、ステップの2段目に左足を掛けたところ、足首をひねってバランスを崩し、前方に転倒し、左足脛に裂傷を負った。	55	3	417	～ 299
67	2020	8	～ 23	乗務終了後、車両点検のため両手に歯止めを持って前扉から降車した際、左足首をひねって足関節を捻挫し腓骨を折った。	31	3	231	～ 299
68	2020	8	～ 20	乗務終了後、歯止めを両手に持ち、右側を向いた状態でバスを降りていた際、右足をアスファルト舗装と砂地の間につき外側へひねり転倒し、右腓骨近位端を折った。	52	2	417	～ 299
69	2020	9	～ 19	バスで駅構内へ進入時、停車中のバステックと地下駐車場入口の間を通過する際、右手の中指をハンドルに掛けたまま更に右にハンドルを切ったため、無理な方向に中指が曲がって、伸筋腱脱臼を負った。	39	7	231	～ 299
70	2020	9	～ 9	終点で降車客扱い中、乗客とのトラブルにより相手方から傘で複数回叩かれて、左上腕部打撲傷を負った。	55	99	921	50 ～ 99
71	2020	9	～ 23	営業所敷地内のバス駐車場で、乗務終了後の車両点検中、バスの輪留めに足を掛けて転倒し、左手関節部挫傷を負い、左第6肋骨を折った。	58	2	379	～ 299
72	2020	9	～ 19	日勤終了後、工場内の浴室に入ったとき、浴室内にいた大きな蛾を追いかおうと、湯船の縁に足を乗せたところ滑って、足が滑り湯船の蓋をしていた発泡スチロール製の蓋中央部に足が乗った。その結果、蓋が割れて水が入っていない湯船（深さ60cm）の底へ転倒し、右第5中足骨を折った。	43	2	391	～ 299
			11	整備士として、車の3か月点検を行っていたところ、パワステオイ				300

73	2020	9	12	ル交換作業中、スパナレンチとレンチの間に指を挟み、右中指を打撲した。	24	7	364	～	499
74	2020	9	16	駅バスターミナル降車場で定点チェック実施中、右側方よりスマートフォンを注視しながら後退してきた一般女性に右足小指の先端部分をハイヒールで踏まれて骨折した。	52	6	911	～	299
75	2020	9	14	確認のため塗装場に走っていた際、入口付近の側溝と地面の繋ぎ目に引っ掛かり、左足首を捻挫した。	35	3	417	～	299
76	2020	10	18	業務を終えて会社に戻り、売上金の入金処理等の業務を終えて帰るため、下駄箱前でスリッパから靴に履き替える際に、フロアマットにつまずいて転倒し、右足第一中足骨を折った。	54	2	417	～	299
77	2020	10	11	社屋内の倉庫で、荷の運搬に使用している木製台車（30cm×30cm）を倉庫の中二階の棚に収納していた。このとき、収納した台車が落下して右手に当たり、右手示指に裂傷を負った。	56	4	379	～	49
78	2020	10	23	営業終了後、金庫脱着場に停車し、金庫精算のため運転席から車内の平面な場所へ下りる際、料金器の受け皿に尾?骨を接触し、尾?骨挫傷を負った。	57	3	231	～	499
79	2020	10	19	担当事業所の事務所トイレに行こうとして、バス駐車場から近道をしようと斜面を下りているとき、足を滑らせて転倒し、右足脛骨および腓骨を折った。	55	1	711	～	49
80	2020	10	19	駅バスロータリーで、トイレに行き、バスに戻り前扉を上ろうとしたとき、バランスを崩し、料金機に前のめりの状態で衝突した。そのとき、左肩、左膝を料金機に強打、右足脛を運転席周りの段差にぶつけ、左肩腱板損傷および左膝挫傷、右下腿挫傷・挫創を負った。	41	3	231	～	299
81	2020	10	8	支援学校通学バス登校便運航中、前方の車が急ブレーキを掛けたため、当方バスも急ブレーキを掛けて止まった。その際、バス中央部	59	19	231	～	300

			9	一段上で手すりを持って後ろ向きに立っていた被災者は、一段下へお尻から倒れて、第一腰椎を圧迫骨折した。					499
82	2020	10	15 ～ 16	特別支援学校のスクールバスに乗車させるため、抱え上げ、ステップに足を掛けたところ、児童の体重が背部にかかり、背骨に圧迫骨折を負った。	63	19	921	～	299
83	2020	10	5 ～ 6	バスの出発準備中、運賃箱の金庫をセットするため、車両と車両の間を通った際、ピットの溝（深さ1.04m）に転落して、右踵を骨折した。	53	1	416	～	99
84	2020	10	16 ～ 17	乗務中、終点到着後、車外点検およびトイレへ向かうため、前ドアより降車する際、前向きに左手で手摺を掴みながら降り、右足を側溝の蓋（グレーチング）に着地したとき、左手が手摺から離れ、体重（80kg）がかかった右足を外側にひねり、右足第5中足骨を折った。	32	19	921	～	299
85	2020	11	7 ～ 8	車両の始業点検時にヘッドレストの位置を下げて調整しようとしていたが、硬くて下がらなかったため、右肘をヘッドレストの上に置いて体重を掛けて下げようとしたところ、勢いよく下がり左手小指が挟まり骨折した。	56	7	231	～	299
86	2020	11	4 ～ 5	駐車場に自家用車を駐車し、営業事務所へ歩いている途中、右足を滑らせて転倒した際、右足首をひねって骨折した。	53	2	719	～	299
87	2020	11	9 ～ 10	運行途中、駅での待合中に車椅子のお客様をバス車内に案内した後、後ろ扉から降車する際、右足つま先部分が、車椅子用スロープ板の脱輪防止ガードにつまずき、バランスを崩して運転席方向に転倒した。その際、左顔面を歩道に強打し、左膝部分を擦りむき、顔面挫創、左腰打撲擦過傷を負った。	55	2	231	～	299
88	2020	11	16 ～	事故を発生させたため、駅の待機場バス車内にて、警察車両の到着を待っていたとき、目の前を通過したので、追い掛けようと慌ててバスから降車したところ、地面の段差を踏み外し、左足第5中足骨	43	19	231	～	100

			17	を骨折および左足関節を捻挫した。				299
89	2020	11	6 7	出社後、自分の使用するバスを確認し、バス運転席から降りるとき、右足脛脛部が運転席リクライニングレバーに接触し、右下腿に打撲傷を負った。	64	3	221	100 ~ 299
90	2020	11	12 13	駐車場で、バスを留置後、降車口から出ようとした際、コーン標識に気付かず、上に乗りかかった状態になり、バランスを崩し、左足関節に捻挫を負った。	44	19	379	100 ~ 299
91	2020	12	17 18	都市間バス待機場で、出発前にトランクへ物を取りにバスから降りた際、氷の塊でつまずいて転倒した際、左腕から地面につき、左橈骨頸部骨折を負った。	60	2	719	100 ~ 299
92	2020	12	6 7	タイヤ点検のため、バスの中ドアより外に出ようとした際、着地した右足首をひねって靭帯損傷を負った。	54	19	231	100 ~ 299
93	2020	12	10 11	バスを運行中、バス停に停車した直後に追突され、中心性脊椎損傷を負った。	72	17	231	50 ~ 99
94	2020	12	16 17	出庫し営業中、公衆トイレで用を足し、トイレから出るとき出入口の段差で左足を踏み外し左側へ転倒した。その際、コンクリート床に脇を強打し、左肋骨を折った。	57	19	921	100 ~ 299
95	2020	12	7 8	勤務中、バスの終点駅でトイレに行こうとしたとき、車道と歩道の段差につまずいて、右足首を捻挫した。	48	19	418	100 ~ 299
96	2020	12	21 22	運転士として担当バスに乗務し運行中、交差点を右折するとき青信号で交差点に進入したところ、右側より信号無視で直進してきた相手方車両に衝突され、腰部挫傷および頸椎を捻挫した。	51	17	231	300 ~ 499
97	2020	12	8	運転士である被災者は運行のため待機中、お客様への案内を行うため、中ドアから降車し、右足を着地したとき、右足に痛みを感じた	44	19	231	100 ~

			9	が、運行を継続したところ、右下腿三頭筋挫傷を負った。				299
98	2020	12	9 ～ 10	バスのドアを開ける際、初めて使うバスで開閉スイッチの位置を確認しておらず、ドア真ん中にある鍵穴に鍵を差して押したところ、開いたドアに左手を挟まれて第3指を骨折した。	63	7	231	50 ～ 99
99	2020	12	12 ～ 13	整備工場で、エアースプリングを交換中、懸架をリフトで上げたところ、エアースプリング内部にエア圧が急激に供給されたため、膨張して台座から外れ、左頬に当たり裂創を負い、左手を捻挫した。	36	4	391	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。